

原城跡ガイダンス施設展示基本設計業務委託 補足資料

1 前提

本補足資料は、「原城跡ガイダンス施設展示基本設計業務委託」に関する企画提案を実施するにあたり、『プロポーザル説明書』や『仕様書』、『その他の資料』では分かりづらいと思われる事項や記載していない事項などについて補足するための資料です。

2 業務の位置付け

南島原市では、平成 30 年 7 月に世界文化遺産となった「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産である史跡原城跡を中心とするまちづくりに取り組んでいます。

これらのまちづくりについては、史跡の価値の理解促進のための史跡整備やガイダンス施設の整備のほか、物産販売機能や観光案内機能を充実させることで、来訪者を増加させ南島原市全体の地域振興につなげることを目的として実施するものです。

その中心となる事業が「南島原市原城跡世界遺産センター（仮称）整備事業」です。

南島原市原城跡世界遺産センター（仮称）は、原城跡のガイダンス施設を中心として、物産販売所、観光案内所などの機能を備えた複合的な施設として、令和 8 年度の供用開始を目指しています。

本業務委託は、世界遺産センター内のガイダンス展示の基本設計一式を実施するためのものとなります。

3 南島原市フィールドミュージアム基本計画との関係

南島原市フィールドミュージアム基本計画は、市内の文化資源や観光資源を効果的にネットワーク化し、多くの来訪者に市内を巡っていただき、観光振興や物産振興を含めた文化観光の推進につなげるための計画として策定しています。

南島原市原城跡世界遺産センター（仮称）は、フィールドミュージアムを周遊するための拠点施設という位置づけになりますが、本業務委託は、フィールドミュージアムがメインということではなく、メインはあくまでも「原城跡等展示基本計画」に記載している原城跡のガイダンス施設を整備するための基本設計ということになります。

4 南島原市原城跡世界遺産センター（仮称）の整備概要

※あくまでも現時点での想定で、今後、基本設計などにより変更となる部分があります。

（１）施設整備のコンセプト

世界が認めた「原城跡」のエントランスエリアに、
ガイダンス、観光、物産、憩いの場となる世界遺産センターを整備し、
地域振興を図り、市民のいきがいを生み出す

（２）整備概要

- ① 整備候補地 南有馬町乙及び丁（国道 251 号沿いの「原城跡駐車場」付近）

- ② 敷地面積 7, 500～9, 000 m²程度
- ③ 建物 1, 100 m²程度（うちガイダンス施設部分は 450 m²を想定）
- ④ 主な機能 ガイダンス、物産販売所、観光案内所など

（３）運営面等

- ① 施設管理 指定管理等
- ② 集客目標 年間 15 万人程度（物産、観光案内も含む）
※物産販売所はテナントとして、民間協議会等での運営。

（４）スケジュール案

	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 8 年度
基本計画・構想	←→					
基本設計（展示・造成・建築）		←→				
実施設計（展示・造成・建築）			←→			
用地・補償			←→			
造成工事				←→		
土木工事				←→	←→	
建築・展示工事				←→	←→	

供用開始

5 原城跡等展示基本計画の補足

（１）計画書全体

原城跡ガイダンス施設展示基本設計業務委託は、「原城跡等展示基本計画」の考え方をもとに進めていくこととなりますが、計画書内で示している展示構成や展示手法は、あくまでもそれぞれが一つの案ということであり、必ずそれを採用しなければいけないということではありません。

（２）デジタル展示

「原城跡等展示基本計画」の 10 ページのデジタル展示については、次のように考えています。

- ・島原・天草一揆に関する絵図は、大半が、全国の博物館、大学、資料館などに多数所蔵されており、南島原市の調査では現時点で百数点を確認しているものの実物の収集は困難な状況です。
- ・これらの絵図について、別事業にて高精細デジタル化事業を進めており、ここで制作したデジタルコンテンツを活用して、展示として公開することを想定しています。
- ・そのため、複数の絵図のデジタル展示が実現でき、なおかつ来館者にインパクトを与えられるような展示手法を望んでいます。

（３）展示構成イメージ、配置動線イメージ

「原城跡等展示基本計画」の 12 ページの展示構成イメージ、90 ページの配置動線イメ

ージについては、次のように考えています。

- ・展示構成イメージのピンク枠は、観光案内施設で無料ゾーンとして設置する想定です。（案内パネルや展示に関わる備品、装置などは本業務委託内で検討。）
- ・展示構成イメージの黄緑枠は、有料ゾーンを想定しており、450 m²想定の建物内に、展示のほか、エントランス、一般収蔵庫（40 m²程度を想定）、受付・事務室、シアタールーム（40 人程度収容）、デジタル展示室、企画展示室などの配置を想定しています。
- ・ガイダンス施設の無料ゾーンや有料ゾーンを見学して史跡現地に向かう、あるいは史跡を見学したうえでガイダンス施設を訪れるというような、史跡とガイダンスで一体的に価値を伝えていくことが望ましいと考えています。
- ・90 ページの配置動線イメージの図は確定したものではありません。シアタールームや受付・事務室、収蔵庫、その他諸室の配置や動線については、本業務委託内で決定します。

（４）収蔵庫及び出土遺物について

- ・原城跡の出土遺物の重要文化財指定は具体的なスケジュール等が未定であるため、それらの手続き等が具体化した段階で、世界遺産センター内のガイダンス施設改修や重文展示室及び収蔵庫の増築などを検討していくこととしており、敷地内に 100 m²程度の用地を確保しておくこととしていますので、今回の世界遺産センターのガイダンス施設整備においては重文の展示や収蔵ができるレベルの施設は想定していません。

6 プロポーザル説明書の補足

（１）企画提案書の記載要項について

- ・プロポーザル説明書の 9 ページ「（１）企画提案書の記載要項」のうち「（a）展示構成」は、主に原城跡等展示基本計画の「展示基本方針」などを踏まえて、どのような事柄や項目をどのように配置していくかなど、展示の平面配置と空間利用などに関する考え方やそれらに関連する項目を提案いただくことを想定しています。
- ・「（b）展示手法」については、平面配置と空間利用などを踏まえて、効果的な展示手法に関する考え方などを提案いただくことを想定しています。
- ・「（c）動線計画及びゾーニング」に関しては、主に動線計画案を提案していただくことを想定しており、ゾーニングは平面配置と空間利用などの考え方の中に入りますので、「（a）展示構成」と「（c）動線計画及びゾーニング」セットで提案いただくことを想定しています。
- ・「（d）展示制作費概算費用（基本設計・実施設計・展示工事費）」については、基本設計、実施設計、展示工事費を合わせてどの程度の概算費用を想定しているかをご提案ください。なお、基本設計費は今回の提案上限額、実施設計は 14,000 千円（税抜き）、展示工事費は 180,000 千円（税抜き）を上限と想定しています。

- ・10 ページの《条件等》のうち、『別添「南島原市フィールドミュージアム基本計画書」P20の展示構成（イメージ）図中にある、世界遺産ガイダンス施設内の要素を展示すること。』は、『別添「《参考》原城跡等展示基本計画」P12の展示構成（イメージ）図中にある、世界遺産ガイダンス施設内の要素を展示すること。』となります。
- ・10 ページの《条件等》のうち、『※観光案内施設の要素については、含めないものとする。』は、展示室面積 450 m²（内収蔵庫 40 m²）には含みませんが世界遺産センター内の別の場所の展示（前述の無料ゾーン）として実施することとしており、その部分の展示や備品、装置などは本業務委託範囲に含みますので、「(a) 展示構成」内で一緒にご提案ください。
- ・『○出土遺物が重要文化財に指定された場合の展示環境を想定すること。』は、将来的に出土遺物が重文指定された際にガイダンス施設の改修や増築などが必要となることを想定してくださいという意味で、今回のガイダンス施設整備事業内で重文の展示や収蔵ができるレベルの提案を想定するものではありません。
- ・『○周遊性を高める工夫をすること。』というのは、市内の周遊性を高める仕掛け、史跡とガイダンスを周遊させる仕掛け、世界遺産センター内の無料ゾーンから有料ゾーンに導く仕掛けなどを想定しています。
- ・『(3) 見積書の記載要領』のうち、業務名称は『原城跡ガイダンス施設展示基本設計業務委託』が正しい記載内容となります。

（2）審査基準について

- ・プロポーザル説明書の 12 ページ「(2) 審査項目及び配点」－「審査項目」の「展示構成」は、主に展示の平面配置と空間利用、それらに関連する提案などが本業務の目的に沿ったものであることはもちろんのこと、効果的かつ効率的な提案であるか、魅力的なものであるかなどがポイントとなります。この項目は、後段の「導線計画」と合わせての見ていくこととなります。
- ・「独創性」については、展示全体の提案として、ガイダンスとしての基本的機能を備えつつ、原城跡だからこそ実現できる展示の考え方や手法などが提案されているか、その他よそにない魅力的な提案内容であるかなどがポイントとなります。
- ・「展示手法」については、「展示構成」や「導線計画」を踏まえて、適切な展示に関する考え方や手法例が示されているか、「デジタル展示」の考え方が魅力的な提案であるか、来館者だけでなく管理者も扱いやすい展示の考え方であるか、稼動コストなどが適切な展示手法となる考え方であるかなどがポイントとなります。
- ・「実現性」については、基本設計から実施設計、展示工事全体展示制作費概算費用が提案全体とのバランスの中で経済的な提案であるか、後年度のランニングコストが現実的なものであるかなど、経済性の部分がポイントとなります。

7 事業スケジュール等について

- ・本業務委託とは別に、南島原市原城跡世界遺産センターの建築及び造成等に関する基

- 本設計を実施することとなっており、本業務実施に当たってはお互いの連携が不可欠であることから、業務スケジュールを検討するにあたっては十分に留意してください。
- ・なお、建築の担当部署からの指示として、展示設計内容を早期に決定したうえで建築設計に反映させることから契約後速やかに展示内容を決定する必要があることを留意しておいてください。